

単元名 健康と環境【中3】

配当時間 6時間

- 単元の目標 (1) 健康と環境について理解することができる。
 (2) 健康と環境に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクを軽減したり、生活の質を高めたりすることなどと関連付けて解決方法を考え、適切な方法を選択し、それらを伝え合うことができる。
 (3) 健康と環境についての学習に自主的に取り組もうとする。

標準的な展開例

12300127_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 環境への適応能力について考える。 ★適応能力について考えよう。 ○ 私たちの体の適応能力について考える。</p> <p>○ 適応能力の限界について考える。 ・ 熱中症 ・ 低体温症 ○ 適応能力の限界についてまとめる。</p> <p>2 快適な環境の条件について考える。 ★快適な環境の条件について考えよう。 ○ 快適な温熱条件について考える。 ・ 気温 ・ 湿度 ・ 気流</p> <p>○ 快適な明るさについて考える。</p> <p>○ 快適な生活環境の条件についてまとめる。</p> <p>3 空気の汚れと換気について考える。 ★空気の汚れと換気について考えよう。 ○ 二酸化炭素と空気の汚れについて考える。</p> <p>○ 定期的な換気について考える。</p> <p>○ 一酸化炭素の害について考える。</p> <p>○ 空気の衛生的管理についてまとめる。</p> <p>4 水の役割と飲料水の条件について考える。 ★水の役割と飲料水の条件について考えよう。 ○ 体内の水分の割合と役割について考える。</p> <p>○ 飲料水の条件とその確保について考える。</p> <p>○ 生活に必要な水について考える。 ・ 生活用水 ・ 公共用水 ・ 産業用水 ○ 飲料水の衛生的管理についてまとめる。</p> <p>5 生活に伴う廃棄物の処理について考える。 ★生活に伴う廃棄物の処理について考えよう。 ○ 生活雑排水 ・ し尿の処理について考える。</p> <p>○ ごみの処理について考える。</p> <p>○ 廃棄物の衛生的管理について考える。</p> <p>○ 生活に伴う廃棄物の衛生的管理についてまとめる。</p> <p>6 環境問題への取組について考える。 ★環境問題への取組について考えよう。 ○ 環境問題について知っていることを話し合う。 ・ 大気汚染 ・ 水質汚濁 ・ 土壌汚染 ・ 騒音 ・ 振動 ・ 悪臭 ・ 地盤沈下</p>	<p>・ 気温の高いときや低いときに起こる体の変化について考えさせる。 ・ 暑さや寒さに対しての適応能力には限界があることに気付かせる。 ・ 体の適応能力を超えた環境は、健康や生命に影響を及ぼすことを理解させる。 【評】 適応能力の限界についてまとめる活動を通して、「知識（・技能）」を評価する。</p> <p>・ 暑さ、寒さはどのようなときに感じるかをグループで話し合わせる。 【評】 快適な温熱条件について話し合わせる活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 快適で能率がよい生活を送るための室内の温度、湿度、気流や明るさには一定の範囲があることを理解させる。</p> <p>・ 二酸化炭素濃度の増加により体へさまざまな影響を及ぼすことを確認させる。 ・ 換気回数と二酸化炭素濃度の関係を示したグラフを提示し、換気の必要性を理解させる。 ・ 一酸化炭素の性質を理解させる。 ・ 身近なところに一酸化炭素の発生源があることを確認させる。 【評】 空気の衛生的管理についてまとめる活動を通して、「知識（・技能）」を評価する。</p> <p>・ 水が生命の維持や健康にとって大切な働きをしていることに気付かせる。 【評】 体内での水分の役割について考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ 水道法による水質基準により、飲料水の条件が確保されていることを確認させる。 ・ さまざまな用途で水が使われていることを確認させる。 ・ 水質基準や水道施設の整備により、飲料水が衛生的に管理されていることを理解させる。</p> <p>・ 生活排水やし尿がどのように処理されるのか自分の居住地区をもとに考えさせる。 ・ 焼却施設や埋め立て地の処理能力が限界であることを確認し、生活廃棄物の処理問題を身近な問題として捉えさせる。 ・ 廃棄物の種類により衛生的に処理する必要があることを理解させる。 【評】 生活に伴う廃棄物の衛生的管理についてまとめる活動を通して、「知識（・技能）」を評価する。</p> <p>・ 廃棄物によって自然環境が汚染されていくことにつなげる。</p>

○ 環境汚染の健康への影響について考える。

○ 環境汚染への対策について考える。

○ 環境汚染と健康についてまとめる。

- ・ 公害による健康被害についても確認し，公害対策面で貴重な経験や技術をもつ日本が，積極的な役割を果たすことが期待されていることにも触れる。
 - ・ 環境汚染への対策について，グループで話し合わせる。
 - ・ 一人一人が環境汚染の対策に取り組むことの大切さを理解させる。
- 【評】単元全体を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。

【 備 考 】